

2024年10月13日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**  
第67巻第29号(通算3411号)  
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう  
**週報**

教会標語

小さくされている人を  
大切に<sup>たいせつ</sup>する<sup>きょうかい</sup>教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切に<sup>たいせつ</sup>にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマの人々への手紙5:5)

せいれいこうりんせつ  
**聖霊降臨節**

だい しゅじつれいはい  
**第22主日礼拝**

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

ぜんそう もくとう  
前奏(黙禱)

ちよさくけんしやうめつ  
AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば  
招きの詞

しへん  
詩編

へん せつ  
130編 6-8節

さんび か  
賛美歌

ばん しゅ いのち  
21-513番「主は命を」(©教団讚美歌改訂委員会)

せいしよ  
聖書

ししき  
士師記

しやう せつ  
11章 29-40節

いの  
お祈り

さんび か  
賛美歌

ばん こうかい わた きやうだんさんびかへんしやういんかい  
21-312番「紅海を渡り」(©教団讚美歌編集委員会)

メッセージ「立場主義を越えて生きる」

うしだ ただし ぼくし  
牛田 匡 牧師

さんび か  
賛美歌

ばん うで  
21-413番「キリストの腕は」(©JASRAC)

しゅ いの  
主の祈り

ばん てん ちち きやうだんさんびかへんしやういんかい  
62番「天にいます わたしたちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

ささげもの  
献げ物(\*)

は けん  
派遣

ばん かみ めぐ う せつ  
21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゅくふく  
祝福

うしだ ただし ぼくし  
牛田 匡 牧師

こうそう  
後奏

ばん きやうだんさんびかへんしやういんかい  
アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讚美歌委員会)

ほうこく  
報告

ページ さんしやう  
(4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\*受付に献金箱がございます。

「献げ物(献金)」はご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 130 編 6-8 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

6 私の魂はわが主を<sup>a</sup>待ち望みます (脚注 a:「待ち望みます」は補足)

夜回りが朝を、夜回りが朝を待つにも増して。

7 イスラエルよ、主を待ち望め。

主のもとに<sup>いつく</sup>慈しみがあり

そのもとに豊かな<sup>あがな</sup>贖いがある。

8 この方こそ、イスラエルを

すべての<sup>あやま</sup>過ちから贖ってくださる。

聖書 士師記 11 章 29-40 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

29 主の霊がエフタに<sup>のぞ</sup>臨んだ。彼はギルアド、マナセ、ギルアドのミツパを通過し、そこからアンモン人のもとへと進んだ。30 エフタは主に<sup>せいがん</sup>誓願を立てて言った。

「もし、あなたがアンモン人を私の手に渡されるなら、31 アンモン人のもとから無事に帰ったときに、私の家の<sup>とぐち</sup>戸口から迎えに出て来る者を主のものとし、その者を焼き尽くすいけにえとして献げます。」32 エフタはアンモン人のもとへ進んで行き、これと戦った。主が彼らをエフタの手に渡されたので、33 アロエルからミニトまで二十の町と、アベル・ケラミムまでの地を、エフタは徹底的に打ち滅ぼした。こうして、アンモン人はイスラエルの前に屈服した。

34 エフタがミツパにある自分の家に戻ったとき、娘がタンバリンを持って踊りながら迎えに出て来た。彼女は一人娘で、ほかに息子も娘もいなかった。35 エフタは娘を見ると衣を引き裂いて言った。「ああ、わが娘よ。あなたは私を打ちのめし、私を苦しめる者となった。私は主に対して口を開いてしまった。取り返しがつかない。」36 娘は父に言った。「お父様、あなたが主に対して口を開かれたのなら、どうか、その口から出たとおりのことを私に行ってください。主はあなたのために、宿敵アンモン人への復讐を果たされたのですから。」37 また、娘は言った。「こうさせてください。私に二か月の猶予をください。友達と一緒に山々をさまよい、私が夫を持たない身であることを嘆き悲しんで来るのをお許しください。」38 父は「行きなさい」と言って、娘を二か月の間送り出した。娘と友人たちは共に山々を歩き、彼女が夫を持たない身であることを嘆き悲しんだ。39 二か月が過ぎ、娘が父のもとに帰って来ると、父は自分の誓願どおりに娘を献げた。彼女が男を知ることとはなかった。こうして、イスラエルには次のようなしきたりができた。40 毎年、イスラエルの娘たちは年に四日間、ギルアド人エフタの娘に歌を献げるのである。

## 《先週のメッセージより》2024年10月6日

「キリストを生きる」より

水谷憲牧師

聖書 フィリピの信徒への手紙 1章12-30節

毎日、新聞を開いてもテレビをつけても、犯罪のない日はない。闇バイト、あおり運転、隣人トラブル。親が子を、子が親を殺すような事件を見ても「またか」と感じてしまう始末。しかし、エデンの園を追われたアダムとエバの末裔であるそんなしょーもない私たちの中にも、誰かの命を生かすために自分のことを忘れて身を投げ出した人々が、昔も今もわずかながらも確かにいた。アウシュヴィッツ、アメリカ黒人解放運動、東日本大震災、能登半島地震、この夏の豪雨災害においても。もしもそんな崇高な行為をなした人物が自分の身近な人物だったとしたら、その生き様・死に様は、世間が忘れても自分の心だけには深く、いつまでも残って行くだろう。一方で私たちは、私たちの知らないところで私たちのために命を投げ出して下さっていたキリストの生き様や死に様に、どれほど影響を受けているのだろうか。

パウロは「私にとって、生きるとはキリストであり、死ぬことは利益なのです」(1:21)と言う。「生きるとはキリストである」とはどういうことか。新共同訳聖書の小見出しには「私にとって、生きるとはキリストを生きること」とある。それは「キリストのように生きる」「キリストと共に生きる」こと、と私は理解する。私たちと親しかった人・愛する人・自分によい影響を残した人が、いつまでも自分の心のうちに生き、自分と共にあるのと同様に、キリストと共に生きるということ。いつでもキリストと共にあって、こんな時キリストならどうされたか、キリストならどう言われたか、キリストはどう思われるかと、常にキリストと一緒に人生を歩んでいくということ。もちろん、キリストは愛と優しさを貫いたために苦しめられ痛めつけられ、十字架につけられた方だったから、私たちが本当にキリストと共に生きようとするとき、同じような思いをするときもあるかもしれない。しかしそれも、私たちの知らないところで私たちのために命を投げ出す、そんなことまでして、こんな私を永遠の滅びから救い上げてくださったキリストへの恩返しであることを思って、乗り越えていきたい。そんな私の姿から、新たに「キリストを生きる」者の連鎖が生まれ広がってゆくなら、キリストの犠牲も、誰かの命のために身を投げ出したあらゆる人々の命も、本当に報われるだろう。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 10月6日

礼拝出席 大人4名 献金 大人4,000円 中継視聴者数26回 感謝

◎次週 2024年10月20日(日) 収穫感謝礼拝(聖霊降臨節第23主日礼拝)

招きの詞 詩編 34編 19節

聖書 エレミヤ書 29章 1,4-14節

メッセージ 「命によりそう」牛田匡牧師

賛美歌 「天において主をたたえよ」、21-388番(©出版局)、21-387番(©P.D.)

「収穫感謝礼拝」として、お米やお野菜、果物などの大地の恵みをお献げくださる方は、どうぞお持ちください。献げられました収穫物は、釜ヶ崎支援のために、いこい食堂に献品致します。なお、礼拝後には併せて、釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」も行い、いこい食堂にお届けする予定です。どなたでもご参加ください。

◎お知らせ


- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」は、ホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・次週10月20日(日)14時から15時半にかけて、大阪梅田ツインタワーズ・ノース26階会議室にて、死別の哀しみを分かち合うしみを語るということ～亡き人とともに生きる日本あんしん社会財団)。講師は浄土宗願生寺住職で、長年グリーンケアに携わって来られている大河内大博さんです。参加費は無料です。申し込みは10月14日までに、名前と電話番号を記載して、Eメールを下記までお送りください。 [hasuno-kai@hasuno-kai.org](mailto:hasuno-kai@hasuno-kai.org)
- ・10月24日(木)11時～12時40分にかけて、西宮市にある関西学院会館レセプションホールにて関西学院大学神学部秋季学術講演会が開催されます。テーマは「非暴力と非戦を求めて～新たな戦争と暴力の時代に抗して～」で、講師は千葉真さん(国際基督教大学名誉教授)です。参加費は無料で、事前申し込みも不要です。どなたでもご参加ください。

死別の悲しみを分かち合う会  
 はすの会主催 講演会  
**「悲しみを語るということ」**  
 ～亡き人とともに生きる～

はすの会があなたへ贈る  
 たましいメッセージ

**大河内 大博**


浄土宗願生寺住職  
 訪看ステーションさつとさんが願生寺共同代表  
 NHK『こころの時代』出演



日時 2024年10月20日(日)  
 14時～15時30分  
 会場 大阪梅田ツインタワーズ・ノース26階会議室  
 大阪市北区角田町8番1号  
 ※会議室へは、ビル1階シャトルエレベーターで15階スカイロビー  
 まで上がり、オフィス用エレベーターに乗り換え、26階へ

参加費 無料  
 定員 60名  
 申込方法 Eメールから [hasuno-kai@hasuno-kai.org](mailto:hasuno-kai@hasuno-kai.org)  
 氏名と当日連絡が取れる電話番号を記載  
 申込期間 9月23日～10月14日先着順に  
 受付け。定員を超えた場合はその時点で  
 締切ります。HPでご確認ください

問合せ はすの会事務局 080-8318-7933



助成 JR西日本あんしん社会財団

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
10/20	牛田匡牧師	収穫感謝礼拝・おにぎり支援
10/27	水谷憲牧師	誕生者祝福式
11/3	水谷憲牧師	(愛児祝福月間) 召天者記念礼拝、ユーカリスト 13時半～14時 王寺墓地墓前礼拝(牛田牧師) 15時～第二好意の庭・永眠者記念礼拝(牛田牧師)
11/10	水谷憲牧師	(愛児祝福月間)(障がい者週間) 教会を考える会 15時～ 大阪教区王寺墓地 墓前礼拝(池田牧師・八尾教会)

